

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成17年6月2日(2005.6.2)

【公開番号】特開2001-129967(P2001-129967A)

【公開日】平成13年5月15日(2001.5.15)

【出願番号】特願平11-318356

【国際特許分類第7版】

B 4 1 F 17/34

【F I】

B 4 1 F 17/34

C

【手続補正書】

【提出日】平成16年8月11日(2004.8.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

このような溶剤吸收体24aは、図3に示されるような押さえ板25aに固定される。押さえ板25aの上面には開口部を有し、溶剤貯留槽に接続される供給管25cを介して、一定周期あるいは間歇的に溶剤が自動的に送り出される。その結果、溶剤吸收体24aは溶剤によって常時含浸される。

溶剤吸收体24bについても、供給管25dを介して溶剤貯留槽に接続され、一定周期あるいは間歇的に溶剤が自動的に送り出され、溶剤吸收体24bは溶剤によって常時含浸される。

溶剤として、例えばシクロヘキサンやエチレングリコール等の有機溶剤がインクの組成成分に応じて適宜選択される。

本実施例では、図2のように、印版12上の図中右端面と下側面とに溶剤吸收体24aおよび24bを配置するが、この2面に限定されるわけではなく、印版12を囲む四面の内いずれか一面または複数面に溶剤の含浸した溶剤吸收体を配置してもよい。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

さらに、印版12が前進して転写位置に来るとともに、転写パッド20が転写パッド駆動手段22によって運動して下降し、印版12上の印刷用パターン溝Pに押し付けられる。印刷パッド20が印刷用パターン溝内に塗布されたインクを付着させた後、転写パッド20は上昇すると共に、被印刷物Tの上方に横移動し、被印刷物Tの上面に下降して、被印刷物Tに押しつけることにより、所定のパターンを構成するインクを被印刷物Tに転写する。

このように印版12の往復運動の度にパッド印刷が行われ、また往復運動の度に、溶剤吸收体24aや24bに接触してブレード14がクリーニングされる。